

■コメント

1. 新型コロナウイルス感染症

5月4日以降、広島市では新たな患者の発生は報告されていません。引き続き、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」を心がけ、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

【新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の一例】

～ 働き方の新しいスタイル ～

- ・テレワークや時差通勤、Web会議等を積極的に活用しましょう。
- ・オフィスでは身体的距離を確保しましょう。
- ・対面で打合せをする場合は、部屋の換気を行い、マスクを着用しましょう。

(参考)

- ・厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり2.09人の報告があり、前週と比べて増加しました。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.04		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.59	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.80		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.43	3.23		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	48	2.09	6.99		眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	1.31	
	水痘	2	0.09	0.41		眼科	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	2.38		眼科	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.38		基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.26	
	突発性発しん	11	0.48	0.39		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.87		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	

急増減 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	57	男性(60歳代)・2人、男性(70歳代)・2人
5	梅毒	1	30	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)感 染性胃 腸炎
報告数	広島市	第19週	-	1	9	22	1	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第20週	-	2	6	19	1	-	3	7	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		第21週	-	1	11	31	5	2	5	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		第22週	-	2	9	29	3	1	1	12	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
		第23週	-	3	10	48	2	-	1	11	-	1	-	-	5	-	-	1	-	-
定点当 たり	広島市	第19週	-	0.04	0.39	0.96	0.04	-	0.17	0.17	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第20週	-	0.09	0.26	0.83	0.04	-	0.13	0.30	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
		第21週	-	0.04	0.48	1.35	0.22	0.09	0.22	0.43	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
		第22週	-	0.09	0.39	1.26	0.13	0.04	0.04	0.52	-	0.04	-	-	0.13	-	-	-	-	-
		第23週	-	0.13	0.43	2.09	0.09	-	0.04	0.48	-	0.04	-	-	0.63	-	-	0.14	-	-
	全国	第21週	-	0.08	0.53	1.14	0.09	0.05	0.04	0.38	0.02	0.05	-	-	0.14	0.02	0.01	0.06	-	-
		第22週	-	0.08	0.62	1.30	0.08	0.07	0.05	0.44	0.03	0.04	0.01	0.01	0.14	0.01	0.02	0.06	-	-

【参考】腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)
※2020年は第1週～第23週



腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して少ない菌量でも感染します。

症状は、無症状から腹痛や水様性下痢、血便、溶血性尿毒症症候群(HUS)などの重篤な合併症を起こすものまで様々です。子どもや高齢者は重症化しやすいため、特に注意が必要です。

例年5月から10月にかけて報告数が多くなっていますので、肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】厚生労働省「腸管出血性大腸菌感染症Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2020年第23週(6月1日～6月7日)